

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第96号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成22年9月11日（土） 13時30分ごろ	
発生場所	福島県猪苗代湖天神浜南西方沖 福島県猪苗代町大字金田字川崎888番 所在の砂浜三角点から真方位215°4,100m付近 (概位 北緯37°28.5′ 東経140°05.5′)	
事故等調査の経過	平成22年10月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	水上オートバイ（船名なし）、長さ2.70m	
船舶番号、船舶所有者等	230-39689栃木、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船底に破孔、機関の濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、猪苗代湖を遊走中、平成22年9月11日13時30分ごろ、機関室に湖水が流入し、機関が冠水して航行不能になった。</p> <p>船長及び同乗者は、本船のシートを外して浮き代わりにしてつかまり、漂流していたところ、16時00分ごろ付近を航行していた水上オートバイに救助され、本船は、えい航されて天神浜に戻った。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3、気温 28.1℃ 日没時刻 17時55分	
その他の事項	<p>本船は、本インシデント後、点検を行ったところ、機関室底部に破孔（5cm×2cm）が生じていた。</p> <p>本船は、11時00分ごろ、天神浜西方の浅水域を遊走した後、休憩を取り、13時00分ごろ、仲間の上オートバイ3台と共に猪苗代湖一周の遊走を開始した。</p> <p>船長及び同乗者は、ウェットスーツ並びに救命胴衣を着用していたが、携帯電話は所持していなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、猪苗代湖天神浜南西方沖を遊走中、機関室底部に破孔が生じたことから、同破孔から湖水が入り、機関が冠水して停止し、運航不能になったものと考えられる。</p> <p>本船は、天神浜西方の浅水域を遊走したことから、船底が浅所と接触して破孔が生じた可能性があると考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が、猪苗代湖天神浜南西方沖を遊走中、機関室底部に破孔が生じたため、同破孔から湖水が入り、機関が冠水して停止したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 航行予定水域の情報を収集する。・ 防水型携帯電話を携行する。